



箱堤交差点付近の国道4号の交通状況



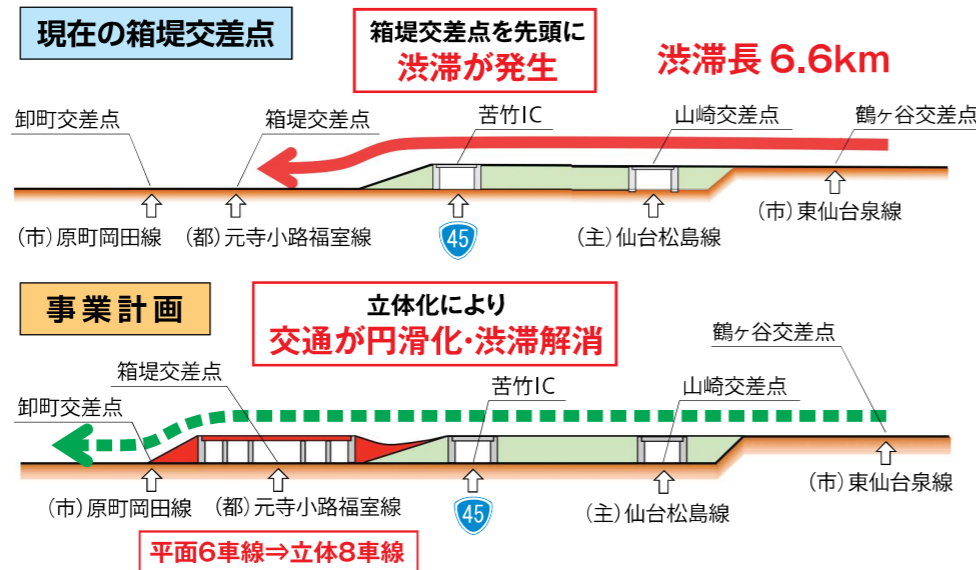
箱堤交差点付近の混雑状況

整備効果

効果 1

箱堤交差点の立体化

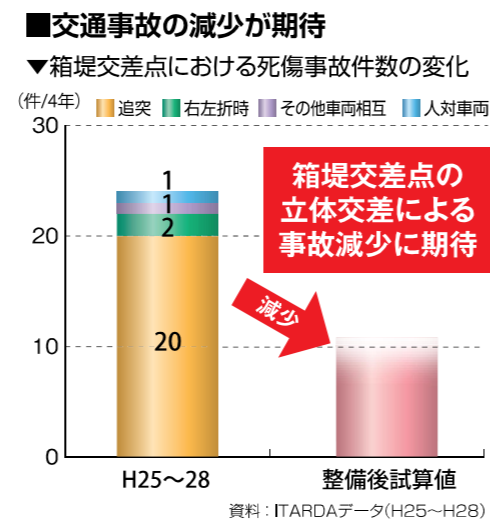
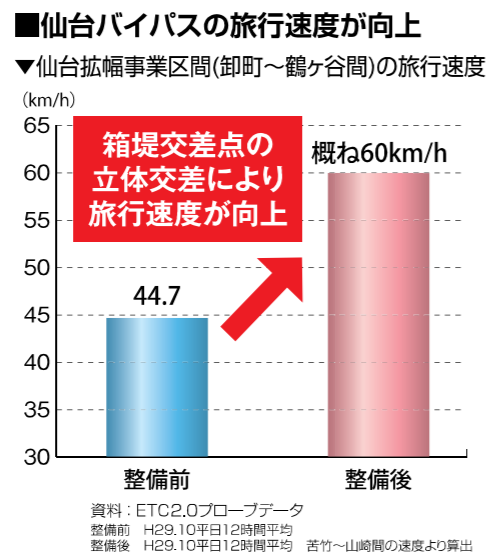
箱堤交差点を立体化することで、渋滞のボトルネックを解消。



効果 2

混雑緩和と安全性向上

国道4号の直進車両の交通が円滑化し、旅行速度の向上が見込まれる。さらに、混雑緩和により追突事故減少が期待される。



国道4号 仙台拡幅



事業概要

仙台市内を通過する国道4号は、増加する交通量による慢性的な交通渋滞の解消を目的に、平成元年から仙台市宮城野区苦竹～仙台市宮城野区燕沢間の6車線化事業に着手し、平成19年3月に供用しました。

平成18年度からは仙台市宮城野区燕沢～仙台市宮城野区鶴ヶ谷間の6車線化事業に着手し、令和2年10月に供用しました。

令和元年度からは、箱堤交差点の立体化事業として、仙台市若林区卸町～仙台市宮城野区苦竹間 L=1.4km について着手し、令和6年度の完成を予定しています。

■事業進捗状況(箱堤交差点立体化)



■仙台拡幅位置図

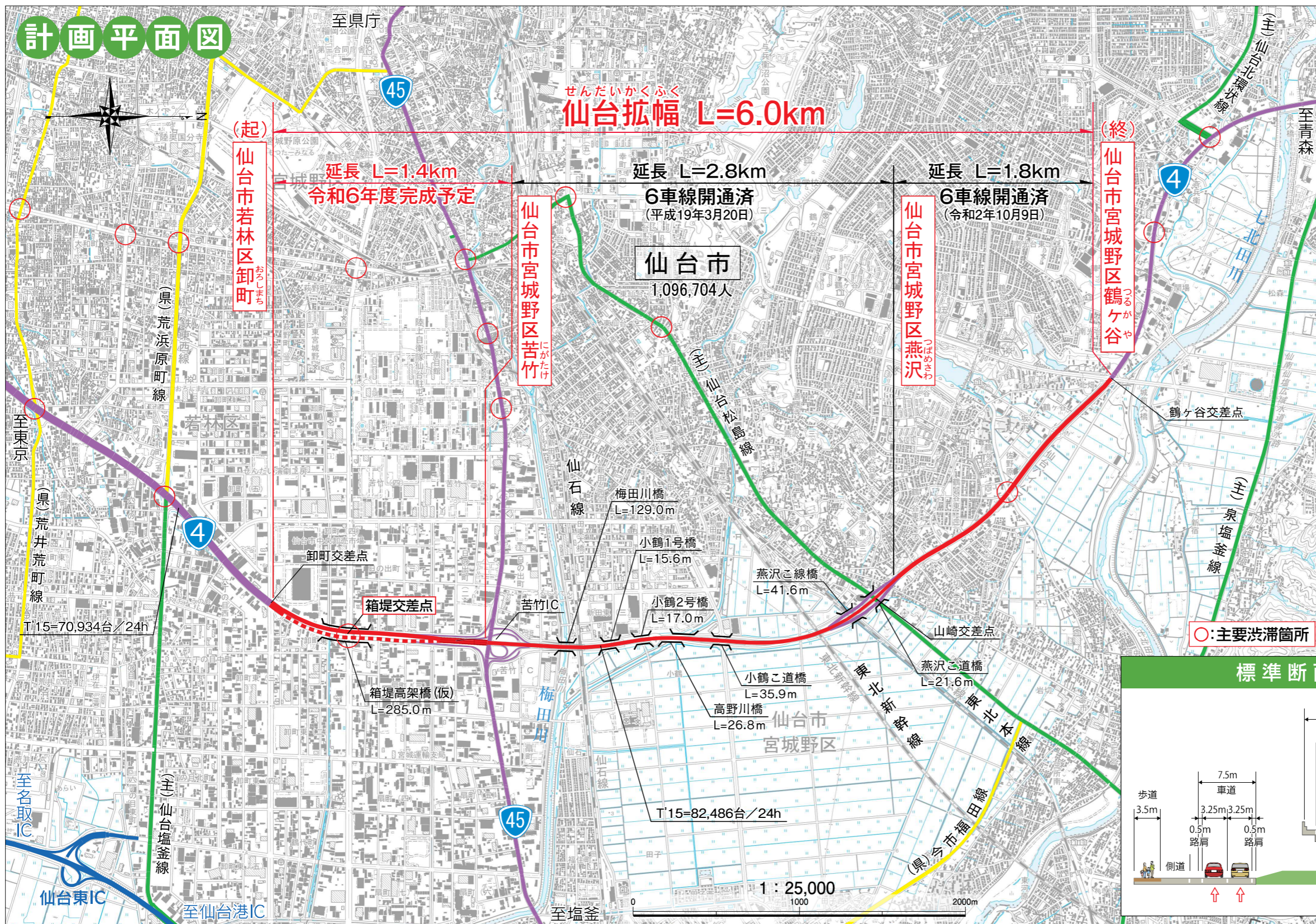


事業経緯

平成元年度	苦竹～燕沢間6車線化着手
平成18年度	苦竹～燕沢間6車線供用
平成18年度	燕沢～鶴ヶ谷間6車線化着手
令和元年度	箱堤交差点立体化事業着手
令和2年度	燕沢～鶴ヶ谷間6車線化供用
令和6年度	全線供用予定

計画諸元

区間	起点	仙台市若林区卸町
	終点	仙台市宮城野区鶴ヶ谷
延長	L=6.0km	
構造規格	卸町～苦竹間⇒第4種第1級 苦竹～鶴ヶ谷間⇒第3種第1級	
設計速度	卸町～苦竹間⇒60km/h 苦竹～鶴ヶ谷間⇒80km/h	



標準断面図(箱堤交差点立体化)

